

新潟県

公民館月報 5

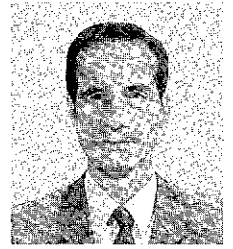
平成9年5月号 通巻第531号



表紙 諏訪神社春季大祭における
奴衆の毛槍振り
(栃尾市公民館)

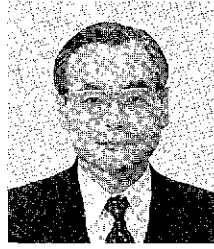
特集 新任職員のための公民館ガイド Q&A

- 視 点 男と女のパソコン利用講座
- ひろ 陸 社交ダンスで生涯学習
- 実践記録 一味違った親子読書会
- サークル交流 風の会 (燕市中央)
- 井戸端 インクワークショップ教室 (青海町)
- 素顔拝見 安達由夫氏 (上越市)
- 清塚隆司氏 (大和町)



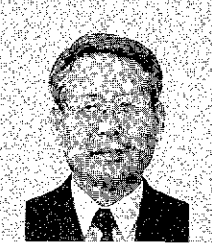
前副会長
渡邊 清三

- 1. 定年退職 第二の就職先 新発田高等職業訓練校長(六月から)
- 2. 定年最後の職場が公民館・



前副会長
武樋 清徳

- 1. 定期異動 転出先 長岡市 監査委員事務局参事・局長
- 2. 一年の短い期間でしたが、多くの素晴らしい方々との出会



前理事
瀬戸 満雄

- 1. 定期異動 新井市農林課課長
- 2. 昭和五十七年に、市の地域づくり自主活動推進事業補助会

文化会館で貴重な体験をし、多くの市民と交流できたこと。そして、高齢者学級五大学交歓運動会のアトラクションで、木造を歌って歓迎され、楽しい一時を過ごしたことです。

3. 個性を発揮し、常に創意と工夫を忘れず、魅力ある事業を展開してほしい。県公連のより一層の飛躍を期待しております。

◇◇◇

いの中で、暖かい御指導・御協力を賜り支えていただき感謝に堪えません。厚くお礼申し上げます。公民館での貴重な経験が心の糧とし、生き生きとした活力ある人生を送りたいと思います。

3. 生涯学習社会の構築に更なる御活躍と、県公民館連合会のみましますの御発展をお祈りします。

◇◇◇

制度が発足し、活動が定着したこと。またこの間に、分館制度が廃止されたこと。

3. 戦後五十余年。今日の日本の繁栄を支えたのは、高度経済成長と公民館活動である。職員の方々に、職務に誇りと情熱をもって、住民と共に歩む公民館活動に、地道で粘り強い取り組みを期待したい。

今春の人事異動に伴う当会役員

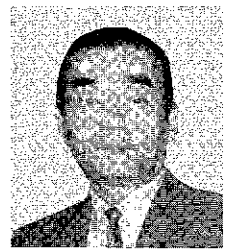
退任のことば

『県公連のより一層の飛躍を期待』

今春の人事異動により七名の役員の方々がご退任されることとなりました。ご退任に当たって左記の項目によりおことばをいただきました。

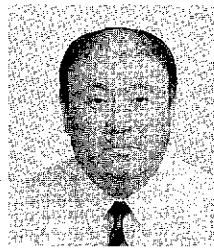
- 1. 異動内容・異動先等
- 2. 在任中、印象に残った事業、事柄等
- 3. 退任に当たって贈ることば

ご多忙の中、ご寄稿いただきましたご退任の方々への、第二の人生、または新しい所属職域でのご活躍、ご発展を祈念いたします。ありがとうございました。



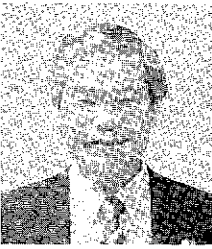
前評議員
松田 豊春

- 1. 定年退職 第二の就職先 泉市勤労青少年ホーム社会教育指導員
- 2. 生涯学習時代の館長の対応とは何か。これまでは住民ニ



前評議員
五十嵐 勲

- 1. 定期異動 企画部ふれあい交流課長兼国際化推進室長
- 2. 柏崎のコミュニティづく



前評議員
羽鳥 昌治

- 1. 任期満了退任(小千谷市の任期は毎年度末、六回更新して今春退職の学校教育課長にバトンタッチができました。)

ズを受けての教室等の開設であったが、二十一世紀はまちづくり、人づくりのために行政が住民に何を求めていくかの時代と思う。

好きだから、暇だから公民館に来るという情性から、自ら学ぶ意思と意欲の自覚の時代である。二年間そのことは伝えて来れたと信じている。悔いはない。

3. 能力の出し惜しみをする。常に全力投球で事に当たれ!!

◇◇◇

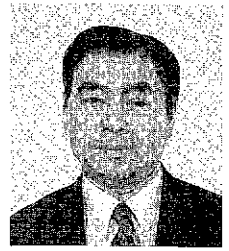
り。今、真のコミュニティづくりとは何か。常に原点にたちかえり、見直しをすることによって未来が拓く。まだまだ奥が深い地域づくり。いま家庭教育をやらねば人材教育は出来ない。全力を地域とともに投資しよう。

3. 能く人を扱って勢いに任せしむ。

◇◇◇

2. ①生涯学習推進基本構想策定作業。
②福祉協と連携で進めた七地区における地域づくり推進事業。
③公民館創設五十周年事業等々。

3. 理論家である前に実践家であれ!!、人間らしいハートを大切に。愛郷心と使命感をもっての前進を期待します。



前評議員
風間 栄光

- 1. 定期異動 博物館長・文化財課長
- 2. 芸術文化のかおるまちづく

り事業を文化協会連合会、芸術協会の方々と一緒に取り組んで来たこと。
 国際交流や生涯学習推進体制づくりやエネルギーを注いだこととしてしようか。
 3. 意欲はライセンス。体験は恵みなり。新しい時代をリードする公民館人であってほしい。

関プロだより

第1号

第38回

関東甲信越静

公民館研究大会概要

- テーマ
新しい時代を拓く公民館のありべき姿を探る
- △ 開催期日
平成9年8月28日(木)～29日(金)
- 開催場所(メイン会場)
木更津市民会館(千葉県木更津市貝瀬)
- 参加対象者
公民館職員 公運審委員等
- 分科会構成 20分科会
なお、第14分科会「環境学習」で、新潟市坂井輪地区公民館から実践発表していただく予定となっている。

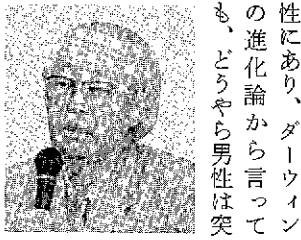
視 点

男と女の
関係は、D
NAの遺伝
子工学の研
究が進むに
つれて「戦
略」として
捉えられる

然変異的な存在らしい。出来ると言っている。○アナタから仕事をとるとゼロになる。○櫃の中でポケットベルが鳴っている。仕事一途に生きる男性に対して、女性の目

男と女のバーチャルリアリティ

長谷川 冬樹



も、女性は選ぶ性であり、男性は求める性である。青木雨彦は、男性の性欲は排泄感でそれは我慢が出来ぬが、女性の場合は空腹感のようなもの、我慢が忘れ

○粗大ゴミいきなりなった訳じゃない。定年を過ぎると男性の存在感はいよいよ色褪せてくる。
 ○長電話終って妻はよく眠る。
 女房でなければ結構いい女なのに。とつくづく眺める良人。
 ○その馬鹿を妻にしたのは誰なのよ。
 夫婦喧嘩も結末は何時も同じ。結婚は、判断の欠如から。離婚は忍耐の欠如から。再婚は、記憶の欠如からとはごもっとも。(川柳作家)

社交ダンスで生涯学習

高橋 綾子



公民館運営審議会委員になり会議や講

演会に出席して、「生涯学習」についてはとても自分で意識させられました。そして村民の皆様にも大いに関心を持っていただきたいと思えました。

そんな時期に、公民館主催の「生涯学習」のサークル活動の募集がいくつかあり、私はその中の「社交ダンス」のサークルに参加しました。どうしても一番に習いたいと思うわけではありませんが、「踊れたらいいだろうな」、「少しは姿勢がよくなるかしら」と、軽く考えて参加しました。

まさか自分自身でもダンスを踊るなんて思ってもみなかった。夫と二人の子供も最初は驚きましたが、夫はお互いを尊重しあい、理解しようと言いつつも、冷やかしてもせず練習に出かけるのを理解してくれています。

公民館主催のサークル活動だが「生涯学習」ではありませんが、色々な活動に参加し、沢山のひとたちと巡り会い、自分自身の中に潤いを与えられる様に自分でも努力して、これからの半生を生き生きと輝いて送りたいと願っています。
 (三和村公民館運営審議会委員)

のための公民館ガイドQ&A のしごとを知ろう

はじめに

陽春四月は、初めて公民館に配置換えされた人、全くの新採用の人等、それぞれの思いで着任されたことと思います。そこで、新しく公民館職員になられた方々のために、今回Q&A形式で基本的な事柄について紹介することとしました。

Q1 今回の異動で初めて公民館に勤務することとなりました。何か少し不安の残る毎日ですが、どのような気構え、心構えでやっていけばよいでしょうか。具体的に説明していただければ幸いです。

A1 そうですね、公民館職員には一般行政の職員にはない公民館職員としての心構えがとくに必要とされます。それでは、その心構えについて次に具体的に説明したいと思います。

☆ **窓口は公民館の顔です**
窓口業務は、何といっても地域住民と直接触れ合う場面です。端的に申すならば、地域住民と公民館を結ぶ「公民館の顔」と表現できるようです。講座・事業への参加申込みの受付、施設利用申込みの受付、社会教育団体やグループ・サークルの照会等の場合のことばづかい、態度、電話の応対等も含めて、明るく親切で、温か味のある窓口づくりが心がける必要があり、公民館が行う住民サービスをより高めることが、まず仕事の第一といえるようです。

あるベテランの公民館長が、「住民にとって市役所、町村役場は、行かなければならないので仕方なしに行く所、公民館は行きたいから行く所、という

認識を忘れるな」と申しておりましたが、正に当を得たことばでしょう。

☆ **手まめ、足まめに**
現在は、触れ合いの時代ともいわれております。対象地域内の住民に直接触れ、人々の持つ潜在的な要求や悩みを察知し、またその地域にどのような団体、グループ、サークルが存在し、どのような活動や交流がなされているかを確認し、そしてその地域の課題や生活の課題をきちんと手まめに把握することが大切といわれます。

☆ **地域内のリーダーの把握**
対象地域内の各種団体のリーダーや、公民館利用のグループ、サークルのリーダーの把握や育成に、平素より心がけておくことが大切となります。これら団体、グループ、サークルのリーダーこそ地域づくりに不可欠な中核的な存在ですし、またそればかりではなく、ボランティアとして公民館職員の強力な味方

となって手助けしてくれる人たちらなのです。

☆ **学びの姿勢に基づく感性**
近年、公民館に欠けているものの一つに、「来て良かった」と、地域住民に満足してもらえない講座・事業が少なくなっているといわれております。地域住民から満足、感動を得るためには、職員自らが学びに基づく豊かな感性を身につけてもらうことが大切となります。どうか平素より、知的・美的・情的感性を磨き、職員自らが感銘・感動するような講座・事業の編成に努めていただきたいものです。

Q2 突然今回、公民館に異動しました。迷ってはかりい何から手をつけていいのかわかりませんので、仕事内容を具体的に整理して教えていただきたいのですが……。

A2 大分お困りのようです。大事なものから順を追って説明したいと思えます。昔から仕事で迷ったり悩んだりしたら、大事なものをタタに並べて順番にやっていた方がよいといわれておりますので……。

さて、公民館職員の具体的な仕事内容として考えられるのは、施設の管理・提供(貸館)・

運営に関わる予算の確保等がありますが、その前に何と云っても事業の推進が最も重要な仕事となりましょう。それでは具体的に事業推進に関わる仕事を、順を追って説明していきます。

(1) **主催講座・事業**

これは、公民館自体が実施する講座・事業です。そして、生涯学習の理念や実際についての啓発活動、学級・講座等の開発(学習機会の提供)、またそれらの情報や相談事業等、多種多様な主催講座・事業の展開が考えられるようです。

「公民館(職員)は、主催講座・事業で勝負する」と、よくいわれますが、主催講座・事業こそ公民館の生命といえるでしょう。職員が主催講座・事業にどのような英知をこらし、地域住民の期待にどう応えているかが、その公民館の活動のパフォーマンスともいえます。

したがって新任の皆さんからは、まず主催講座・事業の理解から入られることをお勧めいたします。むろん、個々の公民館によって予算の規模、職員体制、施設規模、住民の学習要求等、様々な条件に違いが見られ、一律には考えられませんが、ここでは比較的どの公民館でもやれることを想定して考えてみたいと思えます。

新任職員 公民館

公民館主事の心得

- 1、仕事は自分で作るもの。
 - 2、仕事は先手先手でやり、受け身になるな。
 - 3、大きな仕事に取り組み(自分を大きくする)。
 - 4、難しい仕事をねらってする(やりがい)。
 - 5、計画性を持ってする(長期展望)。
 - 6、自信を持ってする(迫力が生まれる)。
 - 7、摩擦を恐れるな(やり抜く力)。
 - 8、公民館へ行けば、解決の方法があるようにする。
 - 9、自分の館のメインをつくる(誇れる公民館)。
 - 10、地域の人に足を向けさせる(気軽に应对)。
- (公民館は、地域のやかたであることを自覚する)
- ※愛媛県公運主事部研修より

それではまず、あなたの従事する公民館のサービスマニアについての、社会教育計画を理解することから始めましょう。そして、住民の年齢構成、地域の主たる産業等の基礎資料の把握や生活の課題、地域の課題等を捉えることが必須条件となります。

その上で生涯の発達段階(乳幼児期、少年期から青年期、成年期、高齢期に至るライフステージ)に応じた生活の課題を明らかにし、講座・事業の企画・立案がなされ、実施の運びとなるわけです。

また、個々の講座・事業の展開のためには、「学習プログラムの編成」という作業も、極めて重要となります。

そこでまず、前任職員によって実施された過年度の講座・事業の振り返り(実施記録のファイル読み)や、今年度の事業計画等についてつぶさに検討することから始めるのも効果的のようです。検討に当たって留意すべき点は、

- ①地域住民の生活課題や地域課題をどのように押さえていくか、
- ②その課題に基づいて、その講座・事業をどのように展開させたか、
- ③地域住民の学習課題は、

④講座・事業の展開方法、内容等、
⑤講座・事業実施後の成果(評価等)

が挙げられますが、これらについて十分検討を加え、今後の参考にすることが大切のようです。そして、一日も早くあなた自身が企画・立案の主役となれるようがんばってください。

(2) 援助事業

社会教育関係団体や、グループ、サークル活動への援助事業も、公民館職員にとって大切な仕事の一つです。

学級・講座等に参加した住民がさらに学習を継続したために、個人で、あるいはグループ、サークルで自主活動をするには、大いに奨励されるべきことです。このように、グループ、サークル活動をさらに効果的に進めるための助言、援助は、公民館職員にとって実に重要な仕事といえるのです。

さらにこれらの人々が、学習の成果を地域のために役立てようと、啓発活動やボランティア活動等(学習の還元活動とか社会還元とかいう)に発展できるように助言・援助できるならば、もっと素晴らしいことといえます。

また、社会教育団体の活性化は、地域づくりの原点でもあり、

原動力ともなり得る訳です。で、これら関係団体の把握・育成に力点を置くことも、大切な仕事といえます。

(3) 施設設備等の整備の仕事

公民館は社会教育施設ですので、地域住民の多種多様な学習、文化、スポーツ活動が活発に行われるための条件整備が必要となります。学習(講座)室や、実習室の整備等はもち論のこと、家庭教育学級を促進するための保育室の設置とか、身体障害者の学習活動推進のための段差解消スロープやエレベーターの設置等も、今日的な問題となっております。

また、視聴覚室、図書室、軽スポーツ用の体育室、利用団体のための備品収納ロッカー等の設置も、地域住民の学習活動に対応する施設整備の範ちゅうに含まれるようです。

このような条件整備は、市町村の財政の問題等もあり、容易に整備できるといえるものではありませんが(この種の仕事内容は、どちらかというと公民館長の仕事となる部分が多い)、住民サービスの基本となる問題ですので、平素より施設の改善、整備の充実に心がけ、公民館運営審議会に諮るなどして、年次計画に組み入れ、計画的に整備を進めていくことが大切となって

参ります。

(4) 諸機関との連絡・調整・連携等

○対象地域内で、生活や趣味、子どもの教育、地域づくり等について、住民が自主的に組織している団体、グループ等の把握に努め、それら相互の情報交換、交流を深めるための組織づくりを行うことも、大変重要な仕事となります。

○また、同じく対象地域内の諸教育機関や、教育的な関係団体が実施している講座・事業等について、相互に情報交換を行いながら総合的に連携していくことも極めて大切なことです。

なお、A1の☆手まめ、足まめの項でも、情報提供について触れておきましたので、ここでは割愛させていただきます。

参考資料

- 一、新潟県公民館月報第四九四号、新任職員の公民館ガイド(平六・四月号)
- 二、月刊公民館(平八・四月号)
- 三、月刊公民館(昭五九・八月号)
- 四、月刊社会教育(一九九六・四月号 現代公民館入門)
- 五、公民館運営一問一答集 佐々木実著

実践記録シリーズ(16)

ひと味違った親子読書会

お話のへや本のへや

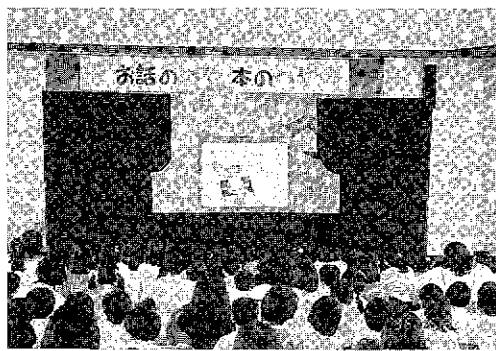
大潟町公民館

一、はじめに

テレビ・ビデオの普及からか子供たちの活字離れ、読書離れが問題にされて久しい。そうした中で、この課題解決に取り組むために、大潟町公民館では、これまで郷土の童話作家小川未明の作品を主に「親子読書会」を続けてきたが、年々参加者が

減少傾向を示していた。

そこで、もっと気軽に参加し、楽しみながら本を読みたくなるような読書会の方法はないものかと模索していたが、ようやく、「お話のへや 本のへや」という親子読書会の発展型としての読書会を実施して喜ばれている。



二、読書会の方法

対象者は3歳の幼児から小学校3年生までの児童とし、人形劇、手遊び、影絵など幅広いメニューによって飽きない内容としながら、町の伝説・民話・絵本の読み聞かせを行い、読書への動機づけを行っている。

期間は、6月から12月までの第2、第4土曜日の午前中に8回行った。

講座のスタッフとしては、町保育所の保育、幼児関係の家庭教育講座で手伝っていただいている町民の方などからボランティアとして、講座の企画、メニューづくりなどを役割分担して協力をお願いしている。

第2回

お話のへや 本のへや

日 時 5月13日(土)
10:00~11:30

場 所 桜井浜コミュニティセンター(海側)
新しくできた建物(大潟町運動場の近く)

やること

- 歌あそび
- 大潟町の民話「入道雲」
- げき「キムチとドビソンの大冒険」
- ゲーム
- 本のしようかい
- えほんのよみかき
- たのしいダンス

★出 演…上級教育大学チルドレンのみなさん
町内ボランティアのみなさん

●保育関係のみなさんは、
おうちの方といっしょに
おいでください。

●おやつや飲み物は、ご
えんりょください。

主催 大潟町公民館
連絡先 大潟町教育委員会
☎34-4367

また、上越市の影絵サークルや上越教育大の学生ボランティアアサークルなど、町外ボランティアの応援なども得ている。

三、募集の方法

募集にあたっては、その方法に一工夫し、事前申込み方式にはしないで、当日受け付けのみとした。ただし、PRについては保護者と子供本人がなるべく目にするように、毎回、保育園児と小学生にチラシを配布した。

四、事業の結果

目新しさと、チラシ(保育者らのロコミも影響して)が功を奏して一回目から大盛況を博した。また、町内のボランティア

スタッフが企画段階から参加してくれたため、一味違った内容にすることができた。というのは、ボランティアと子どもたちとの関係が単に「親子読書会」の中だけでなしに、日常生活においても「ボランティアのおぼさん/保母さん」という親近感を持つことができたことであつた。

全8回のうち、3回は地区分館への出前を行った結果、普段遠いために参加できなかった親子も参加できたと好評だった。

また、毎回、絵本の読み聞かせや、町民会館図書室蔵書の絵本の紹介も行ったため、保護者に対する読書啓発にもなった。

五、おわりに

この事業を始めてから、絵本の貸し出しがたいへん増えたことも、この事業の効果だと思う。親子共々に気軽に参加し、みんなが一緒に絵本を見て、さらにもっと本を読みたいという意欲が生じ、次第に読書に興味が増え、本好きの子供たちが増えてくれることを願っている。

この実践記録は、「上越の生涯学習・社会教育」(上越教育事務所発行)に登載されていたものを、大潟町公民館の了解を得て一部加筆し転載したものである。

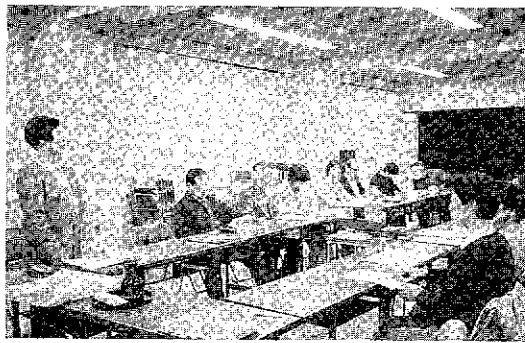
サークル交流

できたてホヤホヤの会です。

風の会

こんにちは、風の会です。風の会というのは、一つの事にこだわらずいろいろな風(情報や行動)を受けたり、感じたり、また、私達からも風を送りたいと生まれたばかりの会です。

個人とかグループを問わず交流をはかり、いろいろな風を起こしていきたいと思っていますので宜しくお願いします。



性海外派遣に行つてこられた方にかけていただいてスライド映写をしながら海外事情の講演会を開いたときのものです。

次回は市民レベルでできる海外協力(NGO)についてや、国際交流を考えたいとバンブーデッシュで活動中の方々と交流を企画しています。

環境問題や福祉、男女共生等、知る事によって自分達の生活意識をより良い方向に変えていくことができればと思つています。公民館をつうじて多くの方々と交流できることを楽しみにしていますので宜しくお願いします。

(燕市中央公民館風の会)

斎藤 紀美江 記)

井戸端気分分で英会話

井戸端イングリッシュ教室

毎週、火曜日午後7時から、町民会館の2階の一室で初歩の英会話を勉強しています。

昭和62年に、はじめて招いた外国人英語指導助手の「気楽な雰囲気指導していきたい」という要望により始まった、この「井戸端イングリッシュ教室」。



近年では、常時40名の生徒が登録されており、学級委員を中心に、自主的・主体的に講座を運営しています。

また、クリスマス等の節目の行事の際は、パーティー形式をとり、外国での「その日の過ごし方」その日はどのようなことをするのか」など、異国の文化を、身をもって体験したりもしています。

日頃、英語に接する機会が少ない町で、これからのこの講座が、より多くの人に英語に親しんでもらい、国際理解を深めるきっかけになればと思つています。

(青海町 井戸端イングリッシュ教室 須沢 和 記)

上越市立公民館

係長 安達由夫 氏

公民館に来て一年、教育委員会は初めてとのこと。

担当事業は、直江津地区館事業五、地区分館事業十九、それに子ども会事務局など多種多様なバラエティーに富んだヘッドスケジュールを一手に引き受け、持ち前の若さとバイタリティーにものを言わせて事業を



テキパキと成し遂げ、一年というのに、はや公民館の

素顔拝見

大和町公民館

主事 清塚隆司 氏

彼は、オートバイをこよなく愛する好青年である。現在も50ccと400ccの二台のオートバイを使い分け、日夜通勤に励んでいる。

新採用で公民館に配属になつて以来五年間社会体育を担当し、スポーツ教室や大会を切り盛りしてきた若きベテラン。この五年間に少年の水泳教室、剣道教室等々彼の下を育つていった小学生も数多い。

今春の異動で同じ公民館の社会教育係に移り、主にホール「さ

「顔」となっている。

事業面においても、皆、市職の書記長という肩書きの持ち主だけに弁舌さわやかであり、企画・立案でも地域住民の意図を育んだ内容は、参加者からの受けも大変良い。

休日には家庭サービスを忘れず、親子のふれあいを大切にしながら家庭円満に心がけるよき父親でもある。

今日も彼は、公民館の任務である人的環境を作り育てるために頑張っている。

(上越市立公民館 補佐 二ノ倉 武 記)



「わらび」事業と生涯学習講座を担当することとなった。

社会体育に社会教育と、まさに公民館のマルチ人間になろうとしている。

彼は、ここ二三年愛するオートバイとともに、夏の十日間ツーリングで行方不明になることを常としている。昨年は四国まで足を伸ばしたらしい。謎を秘めた好青年というのが世間の評価である。

(大和町公民館 湯本 篤 記)

恵贈資料紹介

生涯学習推進基本構想・基本計画

与板町

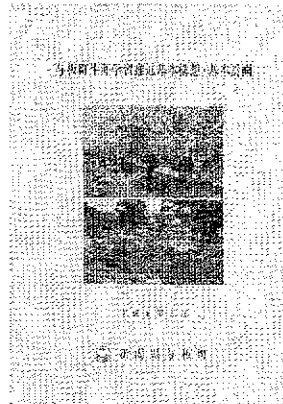


与板町では、平成六年度実施の「町民の生涯学習に関する意識調査」に基づき、今回「生涯学習推進基本構想・基本計画」を策定されたものです。

この計画の特徴は、基本計画の第3章学習機会の拡充の第2節、ステージ別の学習目標と学習計画で、第1ステージは乳幼児期から中学校卒業まで、第2ステージは中学校卒業から職業生活終了まで、第3ステージは65歳以上までを明確に位置づけております。

もう一つの特徴は、第4章学習情報提供・学習

相談体制の充実を掲げ、情報システムの整備情報収集のネットワーク化の必要性を強調しております。また学習相談窓口の設置と学習推進ボランティアの活用も重視しております。



レシピ十日町・母の味

ーわたしの料理とおすすりめ30選ー

田村 シゲ 著
みらい印刷制作



薫風五月、妻有十日町の山の幸等を満載して「レシピ十日町・母の味」が当事務局へ届けられました。料理30選、その道のプロでないとなかなか難しいと言われる料理写真、思わず食欲がそそられるような素晴らしい山菜料理等の写真27選が表紙にレイアウトされており、妻有のまんましを白称し、牛家と婚家の母を師と仰ぐ著者は、長年の体験により味覚や

蒸風五月、妻有十日町の山の幸等を満載して「レシピ十日町・母の味」が当事務局へ届けられました。料理30選、その道のプロでないとなかなか難しいと言われる料理写真、思わず食欲がそそられるような素晴らしい山菜料理等の写真27選が表紙にレイアウトされており、妻有のまんましを白称し、牛家と婚家の母を師と仰ぐ著者は、長年の体験により味覚や

- ・ B 20判 120頁
- ・ 平成8年10月刊行
- ・ 頒布実費価格、八〇〇円送料三三〇円
- ・ 〒949-86 十日町市中条旭町
- ・ TEL〇二五七-一五七-〇三一五

資料紹介

ゆずり葉 No.118

十日町婦人学級OG

伝統と活動実績を誇る妻有郷の婦人学級、その中の一つ十日町婦人学級OGの方々の手によるおたよりです。

内容としては、随想、文芸、俳句、川柳、名訓解説等が掲載されており、投稿者、筆者は、OG(女性)に必ずしもこだわらず、広く地域の年輩男性の方々も載せておられるようです。

余り遠くない昔、十日町市在勤時お世話になった方のお名前や、婦人学級の文集づくりのお手伝いしたことなど思い出しながら読ませてもらいました。

あとがき

◇ 栃尾諏訪神社春季大祭奴衆の毛槍り、その勇壮さと華やかさを第一面に載せて五月号をお届けすることができました。栃尾市公民館深澤係長さんから、全面的な協力をいただきました。

◇ 今回の初めての企画、第二面、人事異動に伴う当会役員「退任のことば」の編集に当たっては、今井会長、上村前事務局長から、いろいろと助言いただきました。

◇ 第四、五面の特集「新任職員向けガイド」は、できるだけ分かり易く、柔らかく記述したつもりですが、いかがでしたでしょうか。ご意見等お寄せください。

◇ 五月号より全面的に企画、編集に携わりましたが、四苦八苦何とかやっとのことで仕上げることができました。(鈴木記)

表紙解説

諏訪神社春季大祭における奴衆の毛槍振り

例年4月29日に行われる栃尾の春の風物詩諏訪神社春季大祭の華奴衆の毛槍は、威勢のいい掛け声といなせな身のこなしで、見る人を思わずくぎづけにします。

発行所 新潟県公民館連合会

〒 951

【新潟市川端町 2-9・県林業会館内】

【TEL・FAX (025) 224-6073】

発行人 会長 今井 昭 友

編集人 事務局長 鈴木 友 夫

【定価 1部 150円 年共 1,800円】